

平成23年7月30日

第16回日本緩和医療学会・緩和ケアチームフォーラム

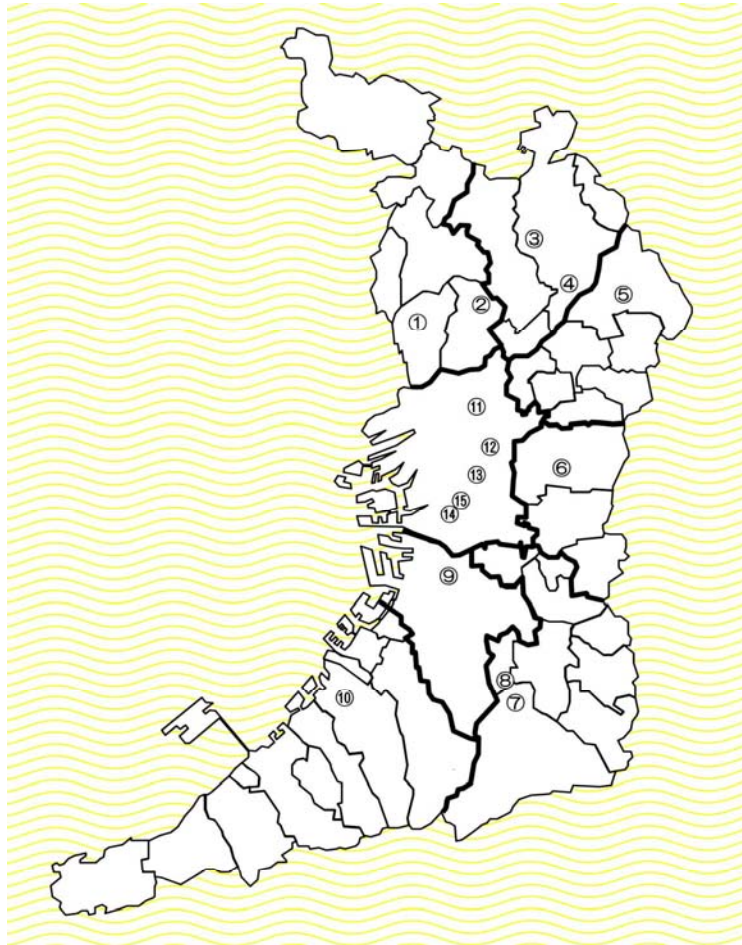
「緩和ケアチーム 質の高い緩和ケアを提供するために必要なことは」

大阪府緩和ケアチーム研修会 —大阪府での取り組みと今後の課題—

大阪府がん診療連携協議会・緩和ケア部会

濱 卓至, 平井 啓, 柏木雄次郎, 川島正裕, 目黒則男, 所 昭宏
池永昌之, 谷向 仁, 里見絵理子, 多田羅竜平, 藤井志郎, 田口賀子

大阪府のがん医療の現状



- 総人口 8,817,166人
- 全死亡者数 68,648人
- がん死亡者数 22,679人

平成17年人口動態調査

- がん年齢調整死亡率

男性 全国46位

女性 全国47位

平成17年人口動態統計特殊報告

- 8つの二次医療圏

14がん診療連携拠点病院

43大阪府がん診療拠点病院

- 医師：22,078人(2006)

第2回大阪府緩和ケアチーム研修会

平成23年3月26-27日

1. 目的

- **大阪府がん対策推進計画「がん医療の充実 3緩和ケアの普及(2)人材育成」**に基づいて、国または府指定がん診療拠点病院などの**緩和ケアチーム**で緩和ケアに従事する医療従事者に対する研修会を行い、大阪府のがん医療における緩和ケアの充実を図る。**(府の事業として位置づけ)**

2. 対象

- 大阪府内で緩和ケアチームの一員として従事している医療従事者(職種は問わない)
- 各病院チーム単位で参加(**1施設3職種1組**) 募集**24**チーム、拠点病院以外からも参加可能

緩和ケアチームの役割

日本緩和医療学会 緩和ケアチーム活動の手引き(第1版)

1. 痛みやその他の身体症状の軽減と精神的, 社会的, スピリチュアルな問題への支援
2. 患者・家族とのコミュニケーション
3. 倫理的側面からの助言
4. 悲嘆のケア
5. 医療従事者の支援
6. 地域緩和ケアネットワークとの連携
7. 教育活動と緩和ケアの普及
8. 活動の定期的評価

プログラム(1日目)

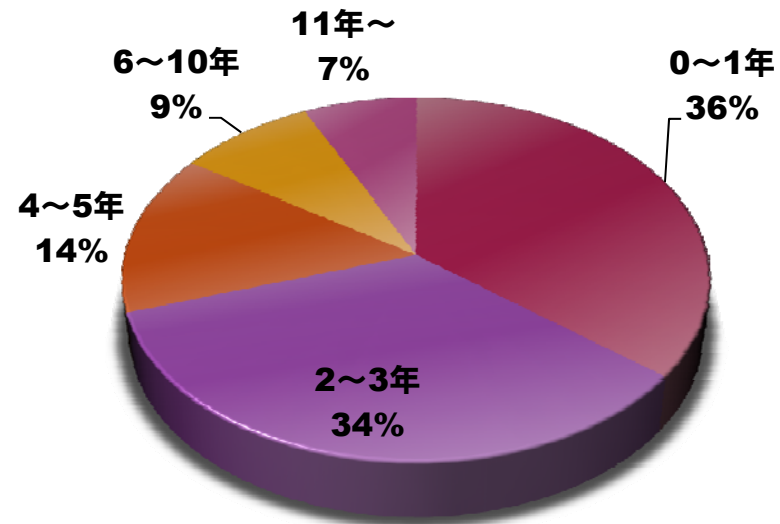
開始時間	終了時間	時間(分)	内容	講師	
13:00	13:30	30	受付・プレアンケート		
13:30	13:40	10	開講式・Opening Remark	柏木・濱	
13:40	14:55	75	アイス・ブレイキング・チーム紹介+α	里見・田口	全体講義
14:55	15:05	10	休憩		
15:05	15:45	40	M-12_アドバンス・ケア・プランニング	川島	全体講義
15:45	15:55	10	休憩		
15:55	16:55	60	親をなくす子どものケア(小児緩和ケア)	多田羅	全体講義
16:55	17:00	5	事務連絡	濱	
17:00	17:10	10	休憩		
17:10	18:40	90	ワークショップ:災害時の緩和ケア		

プログラム(2日目)

開始時間	終了時間	時間(分)	内容	講師	
10:00	10:15	15	受付		
10:15	11:45	90	M-14_苦痛緩和のための鎮静	池永	全体講義
11:45	12:45	60	昼食		
12:45	14:15	90	がん医療スタッフのストレスケアー緩和ケアチームとしての関わりを考えるー	所/柏木/藤井/ 谷向/平井/小川	グループワーク
14:15	14:25	10	休憩		
14:25	15:55	90	包括的アセスメントとコンサルテーション	平井/谷向/小川	グループワーク
15:55	16:05	10	休憩		
16:05	16:40	35	大阪緩和ケアネットワークの構築	目黒	グループワーク
16:40	16:45	5	ふりかえりとポストアンケート	濱	
16:45	17:00	15	修了書授与・閉講式	柏木	

第2回大阪府緩和ケアチーム研修会

- **参加チーム:24チーム**
 - 拠点病院(国):6チーム
 - 拠点病院(府):13チーム
 - それ以外:5チーム



- **参加者:70名**
 - 医師20名, 看護師24名, 薬剤師14名, MSW8名
心理士2名, 栄養士1名, 理学療法士1名
- **災害時の緩和ケア(自由参加):約60名**

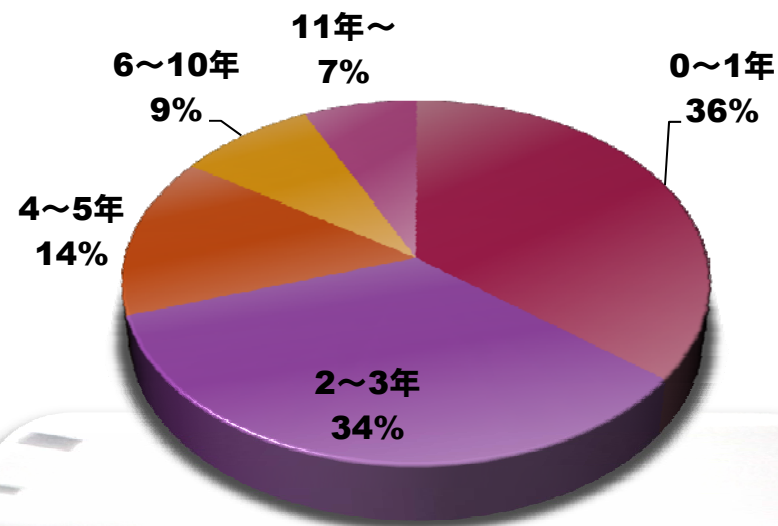
第2回大阪府緩和ケアチーム研修会

- **参加チーム:24チーム**
 - 拠点病院(国):6チーム
 - 拠点病院(府):13チーム
 - それ以外:5チーム

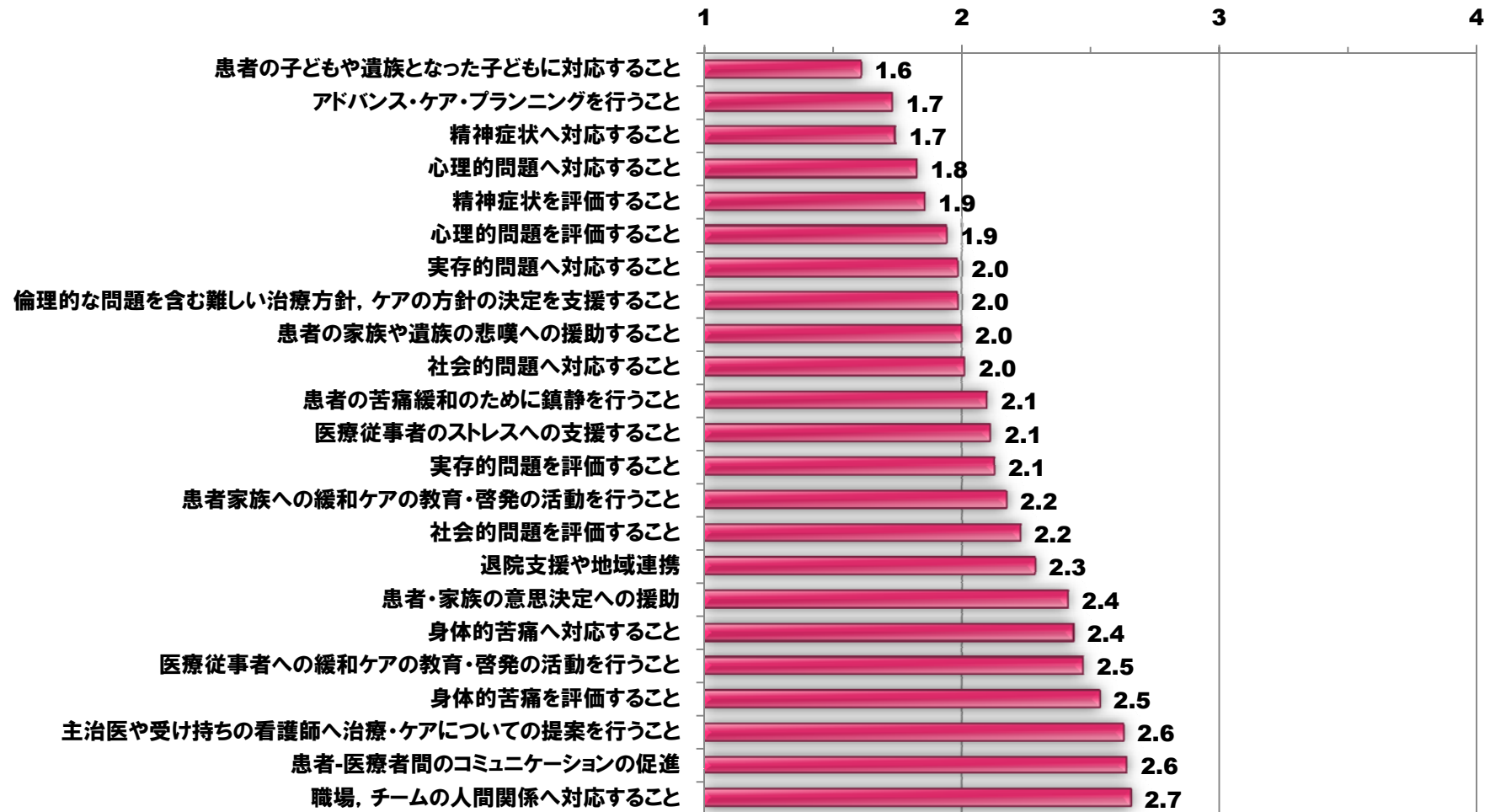
- **参加者:70名**

- **医師20名, 看護師24名, 薬剤師14名, MSW8名
心理士2名, 栄養士1名, 理学療法士1名**

- **災害時の緩和ケア(自由参加):約60名**

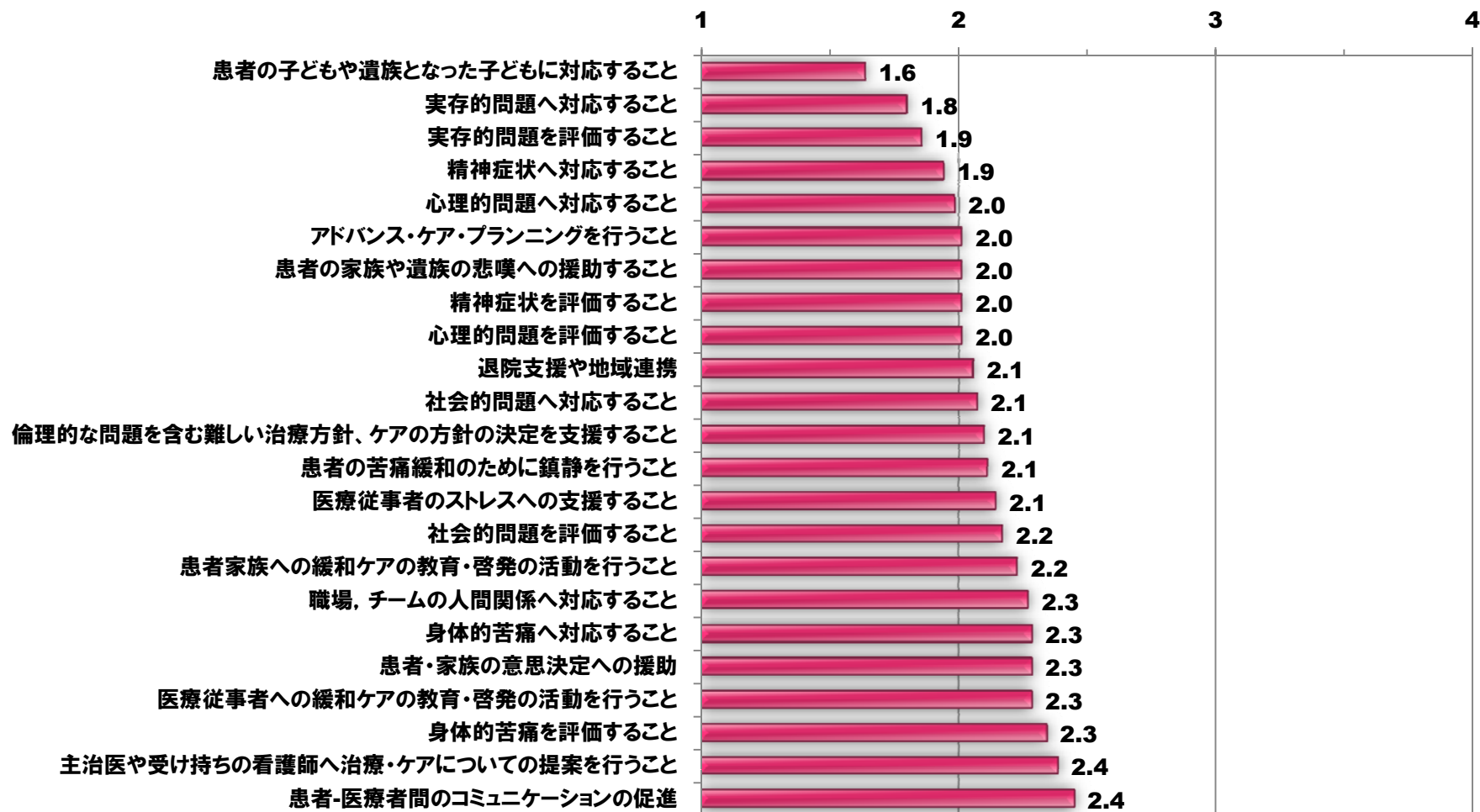


PCTで活動していて以下の項目にどれくらい困難を感じるか？ (1:非常に困難を感じる 2:困難を感じる 3:少し困難を感じる 4:困難を感じない)



今回の研修を終えて、どのくらい自信を感じているか？

(1:自信がない 2:少し自信がある 3:自信がある 4:非常に自信がある)



アンケート(プレ・ポスト)

- 「実存的問題を評価する」
- 「実存的問題へ対応する」
- 「患者の家族や遺族の悲嘆への援助する」
- 「退院支援や地域連携」
- 「職場，チームの人間関係へ対応する」

の項目で，プレに比べて，ポストで困難と感じる順位が上昇した。

今 後

- 「実存的問題の評価・対応」
- 「悲嘆・家族(子供)ケア」
- 「心理的ケア・精神症状への対応」
- 「コンサルテーション」
- 「地域連携」

などを取り上げていく必要がある。

- 緩和ケアチーム間のネットワーク構築
- 職種別ネットワーク構築